

地域メッシュ統計は、緯度・経度に基づき、地域を隙間なく編み目状に分け、統計データをそれぞれの区画に編成したものです。

## 地域メッシュ統計の特質

1. ほぼ同一の大きさ及び形状の区画が単位  
⇒地域メッシュ間の事象の計量的比較が容易
2. 位置・区画が固定  
⇒地域事象の時系列比較が容易
3. 任意の地域の地域メッシュのデータ合算が可能  
⇒必要な地域のデータの入手が可能
4. 経度・緯度で区画されている  
⇒位置の表示が明確  
⇒距離に関連した分析、計算、比較が容易

地域メッシュの作成方法は、〔統計に用いる標準地域メッシュおよび標準地域メッシュ・コード(昭和48年行政管理庁告示第143号)〕により定められています。

総務省統計局では地域メッシュ統計は基準地域メッシュ(第3次地域区画)、2分の1地域メッシュ、4分の1地域メッシュを作成しています。

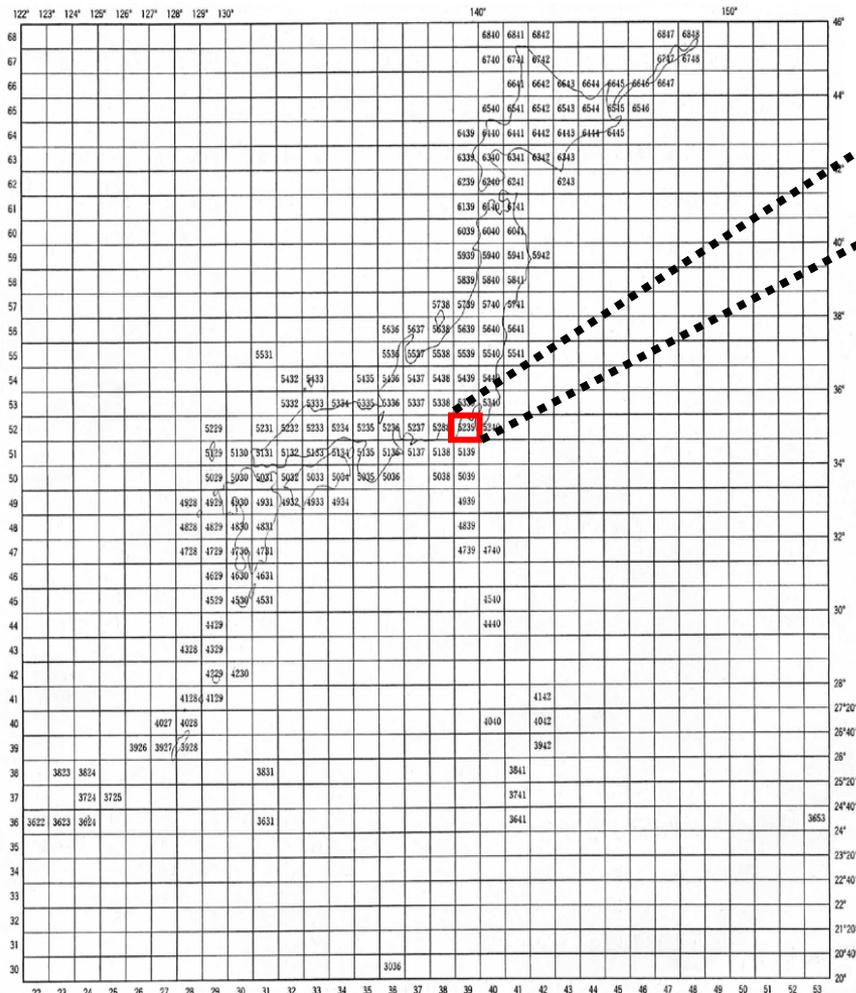
なお、政府統計の総合窓口(e-Stat)内においては便宜的に以下の呼称を併用しています。

基準地域メッシュ: 1kmメッシュ, 3次メッシュ  
2分の1地域メッシュ: 500mメッシュ, 4次メッシュ  
4分の1地域メッシュ: 250mメッシュ, 5次メッシュ

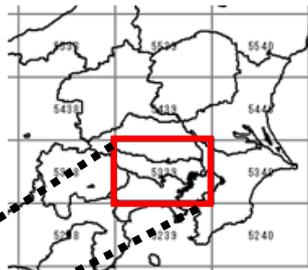
区画の種類	区分方法	緯度の間隔	経度の間隔	一辺の長さ	地図との関係
第1次地域区画	全国の地域を偶数緯度及びその間隔(120分)を3等分した緯度における緯線並びに1度ごとの経線とによって分割してできる区域	40分	1度	約80km	20万分の1地勢図の1図葉の区画
第2次地域区画	第1次地域区画を緯線方向及び経線方向に8等分してできる区域	5分	7分30秒	約10km	2万5千分の1地勢図の1図葉の区画
基準地域メッシュ (第3次地域区画)	第2次地域区画を緯線方向及び経線方向に10等分してできる区域	30秒	45秒	約1km	
2分の1地域メッシュ (分割地域メッシュ)	基準地域メッシュ(第3次地域区画)を緯線方向、経線方向に2等分してできる区域	15秒	22.5秒	約500m	
4分の1地域メッシュ (分割地域メッシュ)	2分の1地域メッシュを緯線方向、経線方向に2等分してできる区域	7.5秒	11.25秒	約250m	

# 地域メッシュの区画方法

第1次地域区画



第1次地域区画



⇒ 5339

第1次地域区画は、約80km四方です。

第2次地域区画と第2次コード

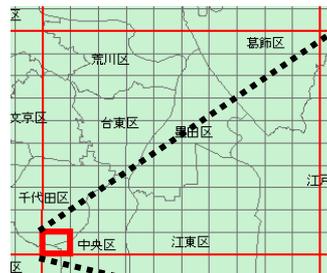
7	70	71	72	73	74	75	76	77
6	60	61	62	63	64	65	66	67
5	50	51	52	53	54	55	56	57
4	40	41	42	43	44	45	46	47
3	30	31	32	33	34	35	36	37
2	20	21	22	23	24	25	26	27
1	10	11	12	13	14	15	16	17
0	00	01	02	03	04	05	06	07
	0	1	2	3	4	5	6	7

⇒ 5339-46

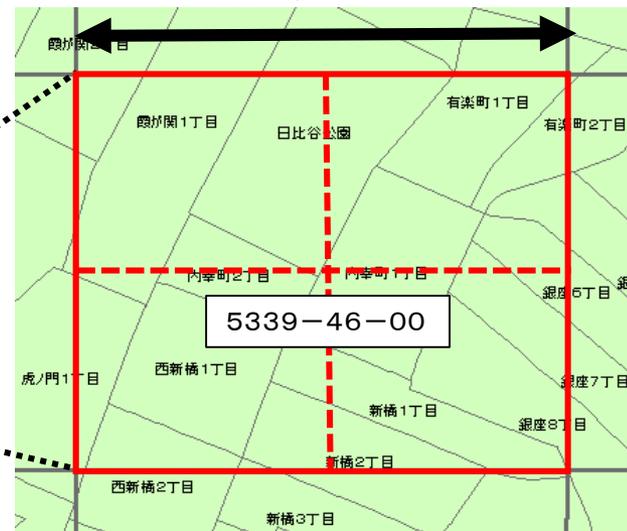
第2次地域区画は、約10km四方です。

## 第3次地域区画＝基準地域メッシュ

(1区画は約1km四方)

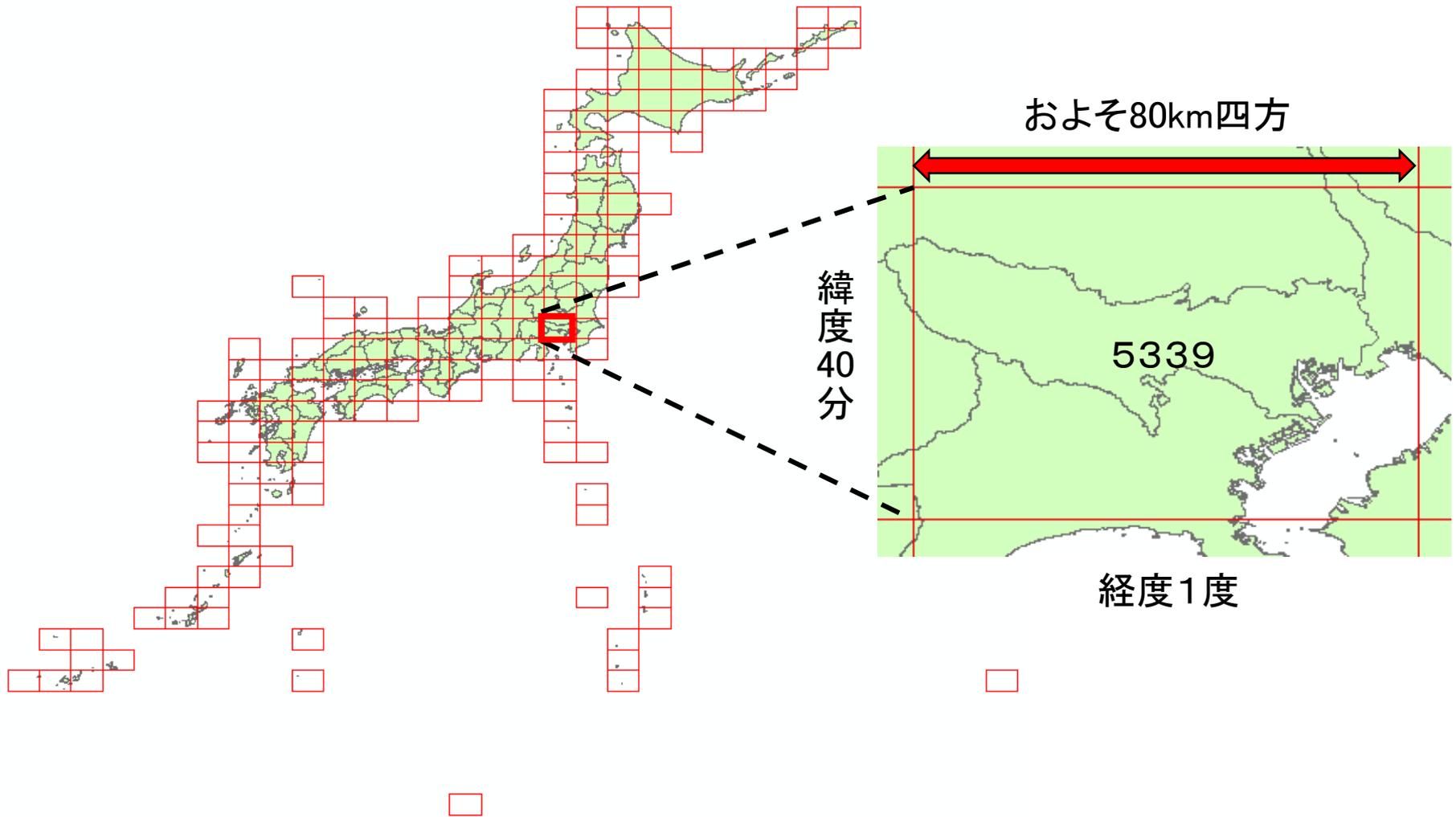


第2次地域区画を100分割(縦横それぞれ10等分)した区画

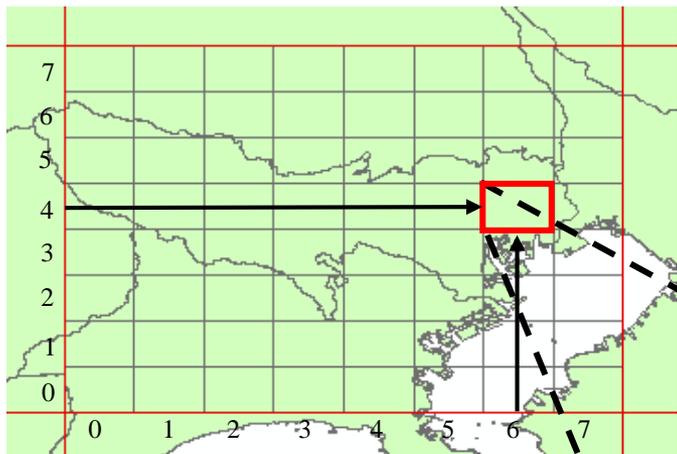


基準地域メッシュを4等分した区画が2分の1地域メッシュ  
(1区画は約500m四方)

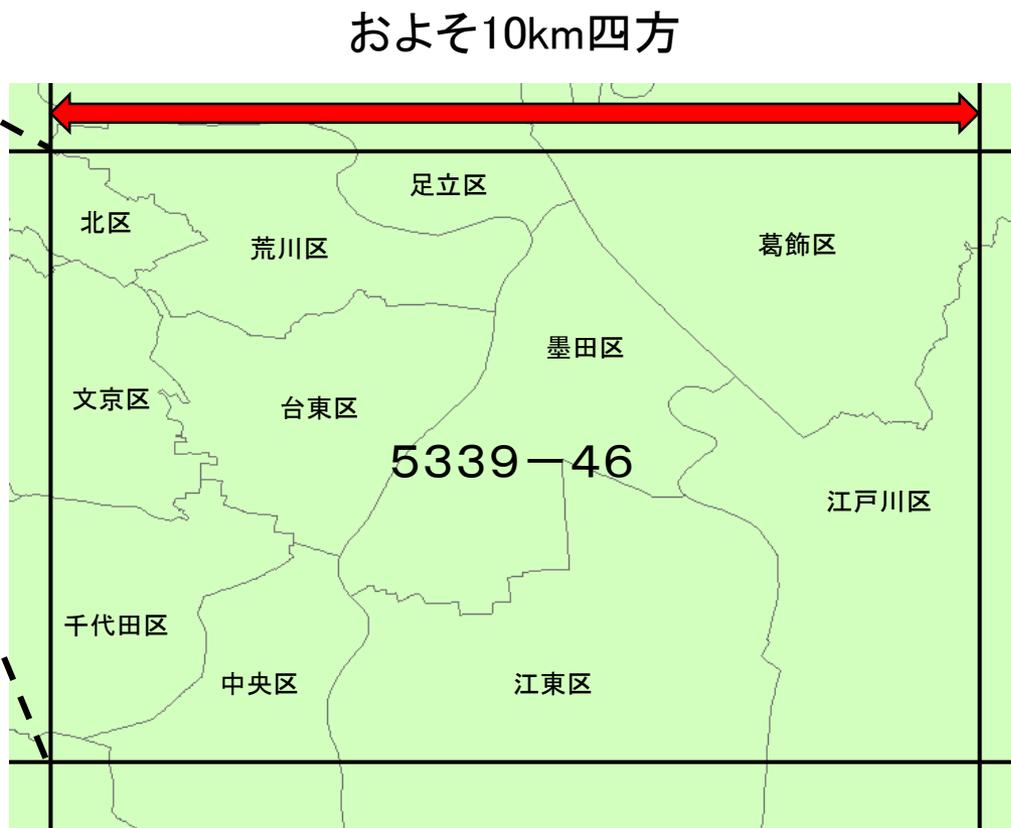
# ①第1次地域区画



## ②第2次地域区画



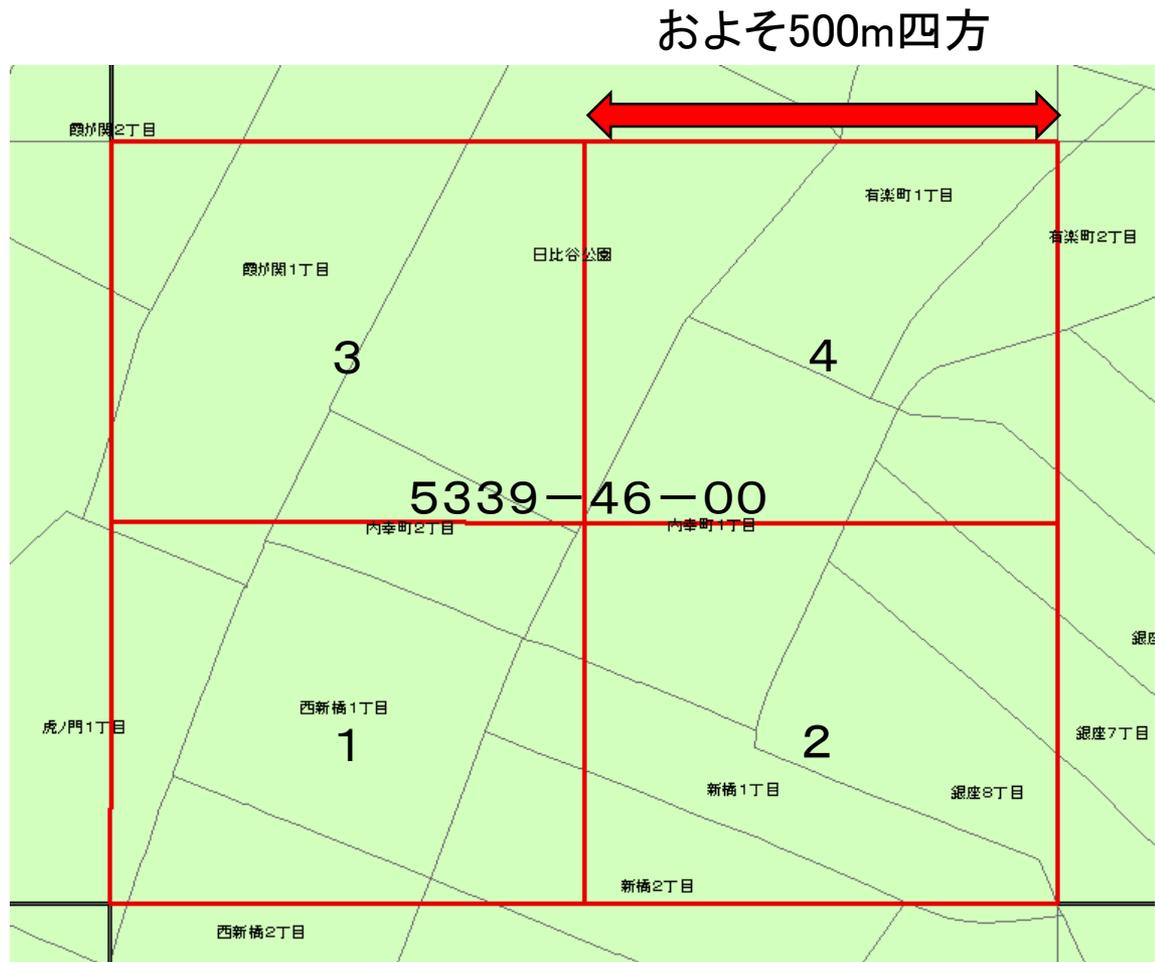
第1次地域区画を64分割  
(縦横それぞれ8等分)  
した区画





# ④ 2分の1地域メッシュ=500mメッシュ

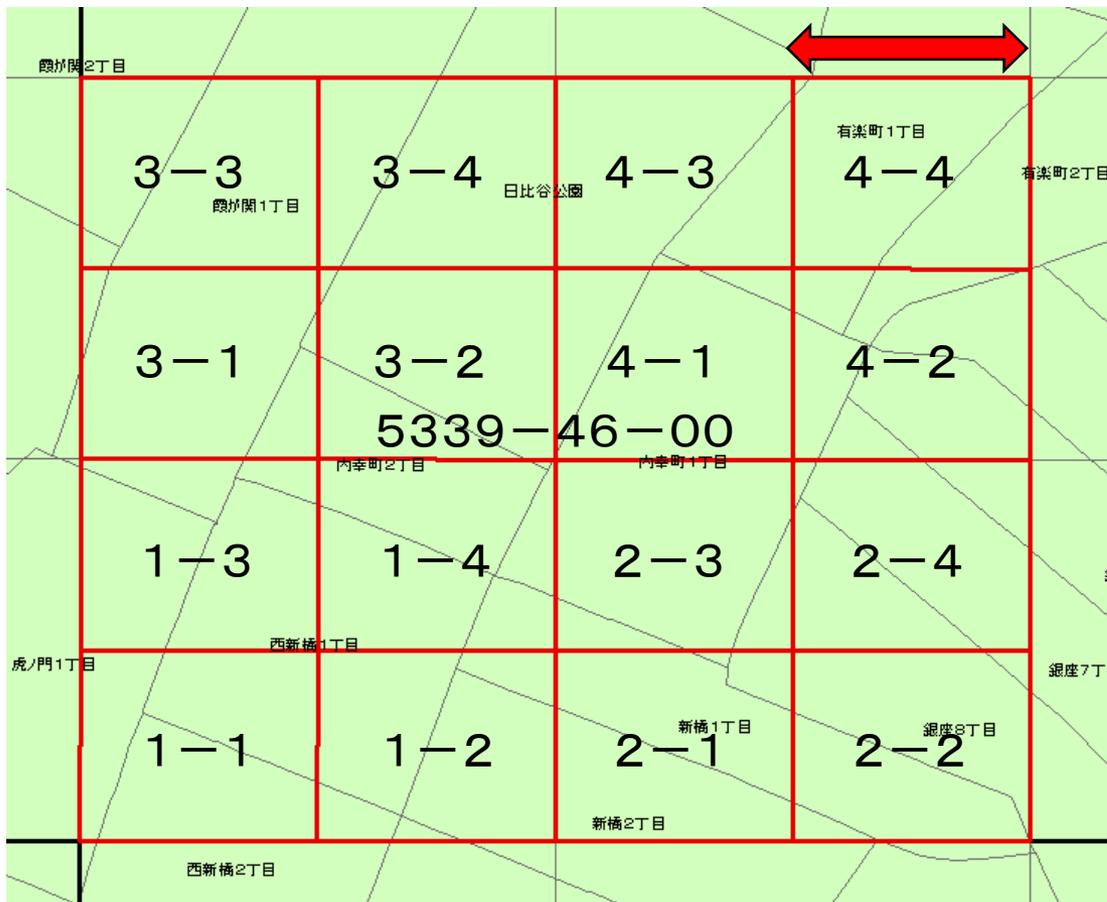
第3次地域区画を4分割  
(縦横それぞれ2等分)  
した区画



# ⑤ 4分の1地域メッシュ=250mメッシュ

2分の1地域メッシュを4分割  
(縦横それぞれ2等分)  
した区画

およそ250m四方



詳細につきましては、統計局ホームページをご覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/mesh/index.htm>

※本資料内の日本地図(都道府県境界及び市区町村境界)は、国土交通省の「国土数値情報」を利用して作成しています。